【氏名】 金澤 裕香 (かなざわ ゆうか)

【所属】特定非営利活動法人アンリーシュ

【経歴】

- 2010年 立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部 アジア太平洋学科 卒業
- 2010年 日本イーライリリー株式会社(営業職)入社
- 2015年 難病を持つ長女を出産
- 2017年 非営利型社団法人日本障がい疾患家族支援協会 設立
- 2018 年 ETIC. 社会起業塾 卒業
- 2019年 特定非営利活動法人アンリーシュ 創業
- 2020年 長女死去
- 現職 特定非営利活動法人アンリーシュ代表理事

【アンリーシュの歴史】

アンリーシュは、私自身が難病の子供を出産・育児を行う中で感じた孤独感・情報不足を解消するためにスタートした団体です。

26 歳で働き盛りだった私は、子どもを出産後も大好きな仕事と家庭の両立を夢見ていました。 しかし生後3ヶ月で哺乳不良を指摘され検査入院となり、そこから3年間にも及ぶ付き添い入院 の日々が始まりました。

同世代が仕事やプライベートで充実している姿を見て、自分の現状を比較し自己嫌悪に陥りました。

娘を愛することができずどうやって接したらいいか分からないと戸惑う日々から、周りのサポートを得ながら今の生活を受け入れ、同じような子どもと家族を支援したいという想いから団体設立に至りました。

私自身の育児の発信からスタートし、現在アンリーシュでは多くの医療的ケア児家族がありのままの生活の様子や気持ちの変化を Web メディアや YouTube を通して発信しています。

それに賛同する人々と共に「医療的ケア児家族が暮らしやすい社会」を模索しています。